

TOTO “自閉水栓” 自閉バルブ (TH698) 施工説明書

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

- この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。



注意

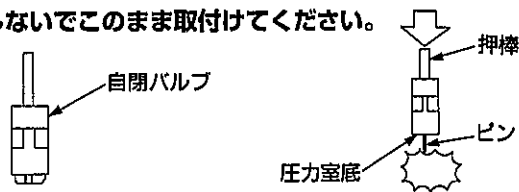
この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

対象製品

この自閉バルブはT705系、TM745CR系のレバーハンドル式自閉水栓金具用です。

● T L597-1A系、TM 740CR系の押しハンドル式自閉水栓金具には組込むことはできません。

- 分解しないでこのまま取付けてください。



注意

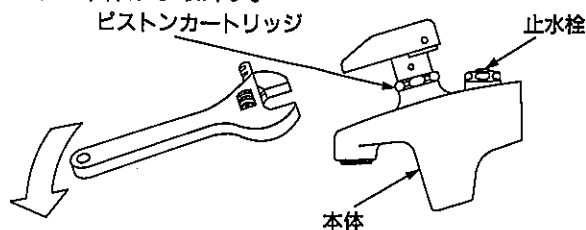
押棒を動かすと圧力室底からピンが飛び出ます。圧力室底に指などがふれた状態で押棒を動かさないでくださいけがをするおそれがあります。

取替方法

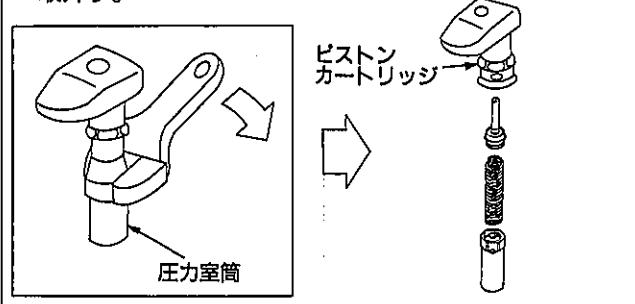
説明図はT706を示します。

1. 旧自閉バルブの取外し

- (1) 止水栓を閉じピストンカートリッジをスパナなどでゆるめて本体から取外す。

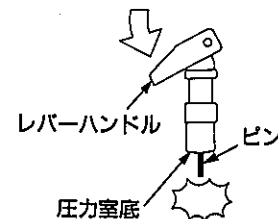
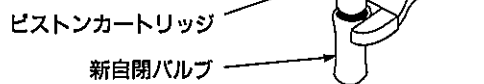


- (2) 圧力室をスパナなどでゆるめピストンカートリッジから取外す。



2. 新自閉バルブの組込み

- ピストンカートリッジに新自閉バルブをスパナなどで取付ける。



注意

ピストンカートリッジのレバーハンドルを操作した場合、圧力室底からピンが飛び出ます。圧力室底に指などが触れた状態でレバーハンドルを操作しないようにしてくださいけがをするおそれがあります。

吐水時間・吐水量の調節

取替前と吐水時間・吐水量が変わっていますので必ず調整してください。

- (1) ハンドル取付軸をドライバーで固定し、ハンドル取付軸用小ねじをドライバーなどでゆるめレバーハンドルを取外す。

- (2) 調節ねじをドライバーなどで回転させ吐水時間又は吐水量を調節する。

右回転……多くなる。

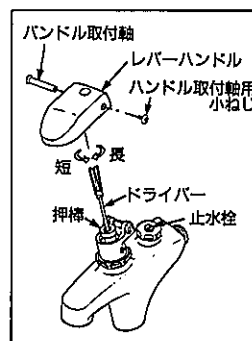
長くなる。

左回転……少なくなる。

短くなる。

- (3) 押棒を押して吐水時間を確かめる。

- (4) 調節が終わったら、レバーハンドルを取付け、ハンドル取付軸をドライバーで固定しハンドル取付軸用小ねじをゆるまないよう十分に締付けてください。





吐水量確認時の注意



吐水量のご確認は **数回の水出し操作後**に行ってください。

取り付け当初、吐水量は多めに出ますが、数回の水出し操作で正常になります。

調節方法は、製品の施工説明書をご覧ください。

03074S

